

かんしん

8月

令和3年8月発行



大富 力、藍子夫妻

○経営品目
乳牛 93頭、肉用牛 160頭
牧草 10ha



酪農の魅力は次世代へつなげたい

みやき町で約50年続く酪農家の3代目の大富夫妻。「酪農で社会貢献」「牛の健康は人の健康につながる」を理念に、良質な自家製堆肥を活用した牧草で牛を飼育する循環型農業を実践するとともに、衛生管理には細心の注意を払い、安全安心な生乳を届けるため日々牛と向き合われています。

そんな愛情を込めて育て続けた我が家の生乳を製品化したいと食品加工にも注力され、看板商品のプリンやシフォンケーキに加え、新たな商品開発にも励んでおられます。

酪農を通して食や仕事、命を学ぶ「酪農教育ファーム」の認定牧場である大富牧場。佐賀の酪農家数はここ10年で102軒から41軒に激減しており、「その中で自分たちができることは、責任をもって経営を維持していくこと」と語る夫妻の益々の活躍が期待されます。

●発行/東部農林事務所 三神農業改良普及センター
〒849-0123 佐賀県三養基郡上峰町坊所 112-1 TEL0952-52-1231 FAX52-1478
●Mail: toubunourin@pref.saga.lg.jp

「為せば成る」シリーズ⑩



上峰町 小柳 拓也
4Hクラブ会長



令和3年度、三神地区4Hクラブの会長を務めます小柳拓也です。現在は米、麦の栽培を主体にタマネギの複合的な農業経営を行っています。

就農して今年で10年になります。就農時にタマネギの栽培を始めました。当初はわからないことが多く失敗もありましたが、4Hクラブの仲間や同じ地域の先輩農家、若い生産者と連絡を密に行い、栽培技術の向上を目指しました。昨年度からは冬場の収入確保のため、プロットコーリーの栽培を開始しています。タマネギと比較すると軽作業で栽培しやすく、氷詰めの出荷体制に大きなメリットを感じています。

これからも引き続き、意欲的な4Hクラブ員と共に、食育活動などの取り組みを通して地域を盛り上げていきたいと思



令和3年度 カリキュラム

開催日	内容
6月29日(火)	絶対に覚えてほしい農薬の安全使用
7月27日(火)	雑草防除・除草剤について 農業経営の基礎知識
8月24日(火)	土壌肥料の基礎知識・土作りについて 土壌診断の実践
9月28日(火)	病害虫のはなし 生活設計について
12月21日(火)	鳥獣害について 農業記帳の実践
1月25日(火)	農作業安全について 補助事業や制度資金について

※開催日は変更になる場合があります。

新規就農者等 農業経営基礎講座開講しています

三神農業改良普及センターでは、新規就農者や若手農業者、就農準備中の方が、農業技術や農業経営の基礎を学び、強い意志をもって農業に取り組んでもらうため、農業経営基礎講座を開講しています。

今年度は、6月から開講しています。

(概ね第4火曜日 13時30分～15時)
年度途中からでも受講可能ですので、ぜひご参加ください。希望される方は、普及センターへお問い合わせください(TEL 0952-52-1231)。

令和4年度 佐賀県農業大学校 学生募集

【定員50名】

農産園芸課程(水田農業・露地野菜、施設野菜、果樹、花き)、畜産課程



推薦入試試験日:
令和3年 10月 8日(金)
一般入試(一次募集):
令和3年 12月10日(金)
一般入試(二次試験):
令和4年 2月18日(金)

●詳しくは
佐賀県農業大学校
0952-45-2144

職員紹介



転出者

志波 弘章 (農業技術防除センターへ)
平 博之 (佐城農業改良普及センター北部振興担当へ)
居石 知成 (伊万里農林事務所へ)
本村 祐美 (佐城農業改良普及センターへ)
丹下友紀子 (佐城農業改良普及センターへ)
田村 直樹 (農業試験研究センターへ)

さが園芸生産888運動トピックス

今こそ園芸農業にチャレンジ!!

さが園芸888運動
チャレンジ! 元気あふれるさが園芸へ

県では、生産者、市町、農業団体など一丸となって、農業所得の向上が期待できる園芸農業を推進するため、「さが園芸生産888億円推進運動」に取り組んでいます。

この運動を一層進めるため、園芸品目の栽培に必要なハウスなどの施設整備や、収穫機や防除機などの省力化機械等の導入を支援する「さが園芸生産888億円推進事業」を用意しています。

皆さんも、この機会に、ぜひ園芸農業にチャレンジしてみませんか!!
事業の詳細な内容は、お住まいの市町の農業担当にお問い合わせください。



↑さが園芸生産888
億円推進事業の詳細
はこちらから!



トレーナー制度で 新規就農者を確保!

三神管内はイチゴやアスパラガスでの新規就農者が増加しています。そこで、就農までにしっかりと栽培管理や経営感覚を身につけるため、就農前にベテラン農家の圃場で1〜2年間研修を行うトレーナー制度が導入されています。

新規就農から数年で地区トップレベルの収量をあげる生産者も現れており、就農者の確実な定着に繋がっています。



フロッコリーの氷詰め 出荷で産地振興!

JASが三神エリアでは、品質向上と有利販売を目指し、昨年度、三根野菜集出荷所に製氷機が導入されました!

また、共選体制が整い、生産者は圃場でフロッコリーを収穫後、通いコンテナで集荷所へ出荷するだけでなく、「規模拡大がしやすくなった」と生産意欲の向上につながっています。



センター長あいさつ

東部農林事務所
三神農業改良普及センター

宮地 知子

令和3年度を迎え、普及センターでは15名の職員で普及活動計画に沿って「若い力で未来を見つめ切り開く三神農業」をキャッチフレーズに、「稼げる農業の確立」と「活力ある農村の実現」を目指し普及活動を展開していきます。

さらに、農業者の方をはじめ関係機関が一体となって「さが園芸生産888億円推進運動」に取り組み、露地野菜や施設園芸の生産拡大、モデルとなる担い手の確保・育成を図っていきます。

具体的には、全普及センターで統一に取り組んでいる重点プロジェクトは、4年目を迎える「新規就農者確保・育成」、「中山間地域の農業振興」に加え、今年度から新たに「佐賀さいごい農業経営体プロジェクト」を立上げ、経営力の高い農業経営体の育成に取り組んでいきます。

地域課題では女性農業者の育成、「いちごさん」の産地強化や露地野菜の生産拡大、輪ギウの安定生産、大豆の安定生産やパン用小麦「はる風」わり」支援、耕畜マッチングなど、課題に取り組んでいきます。

農業を取り巻く情勢は、新型コロナウイルスの影響や気象災害など厳しい状況となっておりますが、三神地域の特徴である整備された水田のフル活用や都市近郊の利点を生かし、このピンチをチャンスに変えるべく、農業者の皆様をはじめ関係機関とともに、地域農業の維持・発展に取り組む所存です。よろしくお願い申し上げます。

藤津地区との 合同マルシェ開催!

経営発展支援の一環として、昨年9月、三神地区と藤津地区の女性農業者での意見交換会を開催しました。各々の体験談やコロナ禍での農業経営について活発な情報交換がなされ、参加者の視野や人脈が広がりました。

この交流がきっかけとなり、今年2月に県庁地下で2地区合同のマルシェを開催。消費者の生の声を聴けるよい機会となった上、お互いの農産物、加工品等の販売物や接客・販売方法を勉強でき、今後の農業経営に活かせる貴重な経験となりました。

今年も交流したいとの声を受けて、合同研修会を計画しています。更なる女性農業者同志の輪の広がりスキルアップが期待されます。

